

えすぽあ

Espoir(エスポール)=フランス語で「希望」

NO.48
2016.3

「男女がともにさんさんと輝けるまち つやま」の実現をめざして…

えすぽあ
Interview

柴田れいこさん
(写真家)

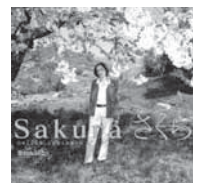
これまで、日本人と結婚した外国人女性を撮影した「Sakura さくら」など、女性のポートレート(肖像写真)を主に発表してきた写真家の柴田れいこさんにお話を伺いました。

…大学へ行くには「高齢」と考えられる52歳で大阪芸術大学写真学科に入學されていますが、どのような思いがありましたか。

もともと写真が好きで、自分の子どもを撮影したり、社会保険センターの講座に通ったりもしました。子育てがひと段落したこともあり、写真のことをもっと学ぼうと考え入学しました。

…大変なことはありませんでしたか。自分の子どもよりも若い人との受験でしたので最初はずかしかったです。が、次第になれました。若い人たちの友達もでき「ため口」で話をしていました。その友達が娘と会った時は敬語だったりしておかしかったですね。「主婦で学生」ということもあり、津山へ2週に1回、バスで帰っていました。が、身体的につらかったです。

…戦争で夫を亡くした女性のポートレート「届かぬ文」の撮影は大変だったと聞きましたが。



外国人女性を撮影した「Sakura さくら」

もともとこのシリーズの制作を開始した時は、今のうちに記録をとっておこ

うと、比較的軽い気持ちで始めたのですが、被写体となる女性の話を聞くうちに、文章も残しておかなければならないと考え始め、当初想定していたよりも質・量ともに内容の濃い作品になりました。「Sakura さくら」などはロケーションを選んだり、着る服も選んでもらったりと、楽しんで撮影ができましたが、「届かぬ文」では、戦死した夫に代わって必死で家を守り子どもを育て上げた苦労話、すなわち、その生き様をお聞きした後なので、撮影を楽しむというより、人間として尊敬の念をこめて凛としたその姿をなるべくストレートに撮影しました。彼女たちの経験を聞いたインタビューを文字に起こす作業は、精神的に苦しかったです。

…これまで発表した作品は女性のポートレートが主ですが、今後もあるらしいシリーズを考えていますか？

大学の卒業制作として、

わたしと同世代の女性のポートレートを撮影しました。現実感のない背景の中で、非日常的な服を着て撮影した白黒の作品群です。当時は50歳代半ばでしたが、今は70歳近くになっています。年齢を重ねたこともあり、再度制作したいですね。この年代は団塊の世代です。すでに高齢者となっていますが、元気なひとが多く、面白い作品になると思います。

…最後に一言いただけませんか。写真を本格的に学ぼうと大学へ行くこととしたときは、50歳を過ぎていて遅いかなと思っていました。今から思うと十分若かったのだと思います。やりたいと思うことがあれば、その時にやるべきです。一日たてば、一日遅くなるだけです。何かを始めるために遅すぎるといふことはありません。今、そのように実感として抱えています。



さん・さん活動報告

「さん・さん」では、ワーク・ライフ・バランスなど、男女共同参画社会の実現に向けた講座やイベントを開催しています。



さん・さん祭り2015

講演・展示コーナー・体験コーナーなどを設け、「さん・さん」を市民のかたに広く知っていただきました。



H27.10.17-18

ワーク・ライフ・バランス推進セミナー

佐々木常夫さんを講師に招き、働き方の改善についてまなびました。



H27.6.19

親子料理教室

親子で料理をつくってきずなを深め、夏休みの思い出となりました。



H27.8.23

たかがアニメの教育学

東洋大学文学部教授の藤本典裕さんを講師に招き、子育てについてまなびました。



H27.9.5



月経前症候群って何？

生理前になると心身の調子が思わしくなくなるかたも多いと思います。

生理の3〜10日前になると、イライラしたり、怒りっぽくなったり、重く沈んだ気分になるなどの心の不調や、胸や頭が痛くなったり、顔や腕・脚がむくむなど身体の不調があらわれ、生理が始まると、それらの症状が消えて軽くなる。

そんな症状がある時は月経前症候群の疑いがあります。排卵のある（妊娠が可能な）女性であれば誰にでも起こりうる症状であり、決して特別なものではありません。

これらの症状の原因ははっきりわかってはいませんが、年齢によって異なる症状を示す傾向があることがわかっています。20歳代では身体の症状が、30歳代では身体の症状に加えて、精神が不安定になったり、攻撃的になったりと精神的な症状があらわれることが多いようです。30歳代と

いえば、家庭や育児、仕事で忙しくストレスをためやすい時期で、はやめに発見することが肝心です。

治療については対症療法が中心となり、適度な運動、水分・塩分の摂取制限などの生活改善、薬を使った薬物療法などがあります。

月経前症候群と同じような症状を示す病気も少なくなく、勝手に自己判断することは、どの病気でも治療を遅らせることとなります。症状にこのあたりがあれば、病院で診察してください。

参 考

病気がみえる vol.9
婦人科・乳腺外科 第2版
メテイクメディア 平成21年
知ろう、治そう、PMS(月経前症候群)
<http://pms-navi.jp/about>



イラスト提供:WANPUG

イクボスが両立のキーパーソン

イクボスをご存じですか？「イクメン」は「育児を積極的に行う父親」だから、「育児を積極的に行うボス（上司）」
と思ってしまうそうですが、「従業員や部下の育児参加に理解のある上司・経営者」のことで、部下の育児などを応援し、仕事と生活を両立するための環境整備に努めていることです。

仕事と生活のバランス

仕事と生活の調和をめざす「ワーク・ライフ・バランス」が注目を集めています。やりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じた多様な生き方が選択・実現できることをめざすこと



です。生活を充実させることは当然ですが、従業員の業務へのやる気を向上させるだけでなく、組織としては多様な人材を確保することで、新たな価値観を生み出したり、生産性の向上につながるなどから、経営戦略として位置づけている企業もあります。

ワーク・ライフ・バランスを実現させるには制度だけを充実させればよいわけではありません。「〇〇株式会社は、育児のための短時間勤務制度を小学校3年生まで取得できるようにしました」といったニュースをとときどき見聞きすることがありますが、こうした制度も、職場や上司の理解がないとなかなか活用しにくいものです。

働きやすい職場をつくる

こうしたなか「イクボス」が注目をあびるようになりました。共に働く部下たちが仕事と生活の調和をはかり、部下たちのキャリアや人生を応援しながら、組織の業績も結果も出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司・管理職・経営者のことです。今後、職場・組織全体でワーク・ライフ・バランスを推進していこうとするならば、その実現に向けた意識の高いイクボスの養成は急務といえます。

また、例えば、自分の職場は育児に理解があり、普段は子どもの世話が十分にできていますが、時として残業が必須なこともあります。そのような時、子どもの世話を配偶者に頼みたいけれど、配偶者の職場は残業続きで早く帰れず困ってしまう、ということもあります。

こうしたことからわかるように、ワーク・ライフ・バランスの実現のためのイクボス養成はそれぞれの職場だけでなく、社会全体でとりくまなければならない課題なのです。

あなたの職場でもイクボスを定着させ、調和のとれた仕事と生活がなりたつよう今日から働き方、生き方を変えてみませんか。

イクボス10か条

この「10か条」の過半数を満たしていることが「イクボス」の証とされています。

1. 理解

現代の子育て事情を理解し、部下が生活や育児に時間を割くことに、理解を示していること。

2. ダイバーシティ

生活に時間を割いている部下を、差別・冷遇せず、ダイバーシティな経営をしていること。
※ダイバーシティ：多様な人材を積極的に受け入れたり、そうした状況を確認すること

3. 知識

生活のための社内制度（育休制度など）や法律（労基法など）を、知っていること。

4. 組織浸透

管轄している組織（例えば課長なら課）全体に、生活を軽視せず積極的に時間を割くことを推奨し広めていること。

5. 配慮

家族を伴う転勤や単身赴任など、部下の生活に「大きく」影響を及ぼす人事については、最大限の配慮をしていること。

6. 業務

育休取得者などが出ても、組織内の業務が滞りなく進むために、組織内の情報共有作り、チームワークの醸成、モバイルやクラウド化など、可能な手段を講じていること。

7. 時間捻出

部下が生活の時間を取りやすいよう、会議の削減、書類の削減、意思決定の迅速化、裁量型体制などを進めていること。

8. 提言

ボスからみた上司や人事部などに対し、部下の生活を重視した経営をするよう、提言していること。

9. 有言実行

イクボスのいる組織や企業は、業績も向上するということを実証し、社会に広める努力をしていること。

10. 隗より始めよ

ボス自ら、ワーク・ライフ・バランスを重視し、人生を楽しんでいること。

「イクボスプロジェクト」<http://fathering.jp/ikuboss>によるものを改編

登録団体紹介

「さん・さん」には団体の登録制度があります。登録されると会議室の利用料が免除されるなどの利点があります。男女共同参画社会の実現に向けて活動している団体などが活動する場所として、活用を検討してみたいかがでしょうか。

セミナー03

代表

佐和共栄さん



どのような団体が教えてください。

平成15年(2003年)に県が「さん・さん」で1年をかけて開催した男女共同参画ゼミナールへの参加者が集まって結成しました。ゼミナールで学ぶだけではなく、学んだことを実践して、男女共同参画を推進したいという思いからです。ゼミナールへの参加者は県北一帯から集まっており、当団体のメンバーも津山市に限らず、近隣市町在住者も多いです。

「さん・さん」をどのように活用していますか。

年に5回程度集まって、女性の社会進出や子育て、DVなど女性に関わる社会問題などを話し合っています。こうしたなか、他の登録団体の人たちから登録のすすめがありました。その後、「さん・さん祭り」の学習会を開催する運びになりました。過去に県とのDV防止活動に参画したこともあり、貴重な経験になっています。



さん・さん祭り2015での学習会

パッチワーク フレンズ

代表

三村律子さん



どのような団体が教えてください。

十数年前にパッチワークが好きなお3人が集まり会を発足させました。その後は、口コミで仲間も増え、今では7人で活動を行っています。名前のとおりパッチワーク作品をつくっており、主に自分たちが使うものを制作していますが、プレゼント用に作ることもあります。ポーチ、バッグ、クリスマスの飾り、タペストリーなどです。最近では、パッチワークではない小物を縫ってつくることもあります。

「さん・さん」をどのように活用していますか。

月に2回会員が集まって、制作に励んでいます。地道な作業でも、集まって作業をすれば、より楽しいですし、技術的なアドバイスのやりとりもできます。普段は毎回異なる作品を作っていますが、さん祭りに向け大きなタペストリー作りに励んでいるメンバーもいます。



さん・さん会議室での制作活動

新着図書紹介

男女共同参画に関する図書ビデオDVDを取り揃え、皆さんにお貸ししています。

図書は1カ月以内で何冊でも、ビデオDVDは2週間以内で2本まで貸出できます。

生き心地の良い町

この自殺率の低さには理由がある

岡 檀 / 著 講談社 2013年

徳島県旧海部町は全国でも極めて自殺率が低い。現地調査やデータ解析などを踏まえながら、この町の一体何が自殺の発生を抑えているかに迫る。



女性たちの貧困、新たな連鎖の衝撃

NHK「女性の貧困」取材班 / 著
 (幻冬舎) 2014年

親の世代の貧困が、子の世代へと引き継がれ、特に若い女性に重くのしかかっているという衝撃の現実を丹念に取材。



迫りくる「息子介護」の時代

平山 亮 / 著 光文社 2014年

親を介護している男性への聞き取りをもとに、どんな思いを抱きながら介護、家事、仕事に向きあっているか、丁寧に描き出す。



ドメスティック・バイオレンスと民間シェルター

小川真理子 / 著 世織書房 2015年

なぜDV被害者には民間による支援が必要なのか。様々な視点から多角的に考察し、民間シェルターの役割と今後の方向性をさぐる。

